

新基地建設反対名護共同センターニュース

「新基地反対！」沖縄の民意を全国へ 辺野古ゲート前の県民大行動に800人参加



集会では最後に全員で「沖縄を返せ」を合唱しました。

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議は3日、キャンプ・シュワブゲート前で第1土曜県民大行動を行いました。参院選で自民党候補に圧勝した高良鉄美新参院議員が「糸数議員から平和の議席を引き継ぐことができた。これは県民のチムグクル（真心・思いやり）の議席だ。辺野古新基地反対へ向け安倍政権をたっぴらかす（打ちのめす）まで頑張る」と決意表明。赤嶺政賢衆院議員などオール沖縄の国会議員と県議会与党会派代表があいさつしました。

改選勢力3分の2阻止した方に「オール沖縄」が

赤嶺氏は、「参院選の最大の成果は32の1人区のうち10選挙区で市民と野党の共同候補が勝利し、改選勢力の3分の2の議席を阻止したことだ。これにはオール沖縄のたたかいが先駆的な役割を果たした」と報告、大きな拍手と歓声に包まれました。大行動には県内各地島ぐるみから800人の県民が参加、「辺野古反対」へ大きく盛り上がりました。

安倍政権をたっぴらかすまで頑張ろう！



高良参院議員



参院選の結果を報告する赤嶺衆院議員

「皆さんの勝利は世界の勝利です！」

辺野古テント村でIPB 共同代表

ノーベル平和賞を受賞している国際的な平和運動団体・「国際平和ビューロー」(IPB)のライナー・ブラウン共同代表(写真)は7月30日、辺野古ゲート前を訪問、テント村に座り込む県民を激励しました。ブラウン氏は「みなさんの行動は世界中に勇気を与えている。県民の勝利は世界の勝利だ。ともに頑張ろう！」とエールを送りました。



ノーベル受賞者を沖縄に連れてくる

IPBは、約70カ国の300組織で構成され、1910年にノーベル平和賞を受賞しています。ブラウン氏は今年メキシコで開催される「ノーベル平和賞受賞者年次国際大会」で歴代平和賞受賞者に長崎、広島、沖縄への訪問をIPBとして提案すると明かしました。

へり基地反対協 安和港での土砂搬出に海上抗議行動



へり基地反対協は7月31日、名護市安和の琉球セメント棧橋から辺野古新基地建設の埋め立て用土砂の搬出に海上から抗議行動を展開しました。カヌー8艇とゴムボート1隻で、運搬船2隻の出航に「違法工事は直ちにやめよ!」「辺野古の海に赤土を運ぶな」

と抗議の声を上げました。仲本興真事務局長は「参院選も含め何度も辺野古ノーの県民の民意が示された。県の行政指導にも従わない工事はやめよ。しかも、違法な赤土を埋め立てに使うことは絶対許されない」と訴えました。(写真は仲本氏提供)